

まち・ひと・しごと創生総合戦略 評価シート(取りまとめ)

【基本情報】

基本目標1	小金井の魅力を発信し、交流人口の増加を図ることにより、地域の活性化につながるまち		
基本的方向1	魅力が共存する小金井らしいまちづくりの推進		
指標	東小金井駅北口土地区画整理事業の建物移転進捗率	担当課	区画整理課
指標の説明	東小金井駅北口土地区画整理事業区域内の要移転の建物に対する移転が完了した建物の割合		

【重要業績評価指標(KPI)】

	目標	結果	評価	結果の説明	次年度に向けての課題・展望	委員評価取りまとめ
26年度	46%					
27年度	↓	57%	B	27年度に移転を予定していた建物内の、地権者の都合により移転が行えなかった建物もあるが、他の地権者に声掛けし、急遽、年度内に移転に応じてもらった建物もあり、事業が進捗した。	年度内に予定している建物の移転を確実に完了させることに加え、駅前の大型物件の移転に向けてスケジュールを調整し、早期に着手できるよう権利者と交渉すると共に移転同意後は権利者が遅滞なく移転できるよう連絡を密に取りながら着実な執行を図ることが重要である。また、困難地権者に対しても移転に応じてもらえるよう、積極的に接触を図る必要がある。	現状、目標を達成しているため、おおむね順調に進捗している。困難な課題もあると思われるが、平成31年度の目標値である100%に向けて課題を明確に整理し、事業に取り組みたい。
28年度	↓	68%	B	28年度に移転を予定していた建物について、概ね予定どおり進捗した。一部の建物について地権者の都合により移転時期について遅延が生じた。駅前の大型物件については、隣接地の建物移転の合意が必要となるため、権利者と交渉を進めている。	年度内に予定している建物の移転を確実に完了させることに加え、駅前の大型物件の移転に向けて中断期間の短縮化等、効率的なスケジュールを検討した上で、スケジュールに沿った移転に着手できるよう権利者と交渉する。移転同意後は権利者が遅滞なく移転できるよう連絡を密に取りながら着実な執行を図ることが重要である。また、困難地権者に対しても移転に応じてもらえるよう、積極的に接触を図る必要がある。 結果を踏まえ今年度は前年度比プラス5%程度の進捗を目指し努力していく。	目標達成に向けて、概ね順調に推移している。困難地権者の具体的な課題の確認と対応に取り組んでいただきたい。また、並行して駅周辺の道路整備等を早めに進めていただきたい。
29年度	↓	70%	B	駅前の大型物件の移転に着手したため、事業費ベースでは進捗を見たものの、棟数ベースでの進捗はやや低調となった。 また、事業計画変更を行い、事業期間を平成38年度末まで7年間延伸した。	年度内に予定している建物の移転を確実に完了させることに加え、駅前の大型物件の移転に向けて中断期間の短縮化等、効率的なスケジュールを検討した上で、スケジュールに沿った移転に着手できるよう権利者と交渉する。移転同意後は権利者が遅滞なく移転できるよう連絡を密に取りながら着実な執行を図ることが重要である。また、困難地権者に対しても移転に応じてもらえるよう、積極的に接触を図る必要がある。 地権者と丁寧な話し合いを第一に事業を進めてきたため止むを得ず事業期間を延伸することとなったが、事業の早期完了に向け、引き続き努力を行う。	地権者への対応を丁寧に行っており、適切な延伸と考える。引き続き、話し合いに重きを置きつつ、早期完了に努めていただきたい。
30年度	↓					
31年度	100%					